

折に触れ 四字熟語

NO. 205 『唯我独尊』 ゆいが どくそん

< 意味 > この世で、自分ほど偉いものはいないとうぬぼれること。釈迦が生まれたときに七歩歩き、一方で天を指し、他方で地を指して唱えたという言葉と伝えられる。この世の中で自分より尊いものはいないという意味。「天上天下唯我独尊」の略。

< 出典 > 『長阿含経』一

表 言 : 唯我独尊の独裁者

用 例 : さすがに、この人に訪ねられたのでは、勝も無精をして、屋敷の中に唯我独尊を極めていく訳にも行かない。<子母沢寛・勝海舟>

語 釈 : 「唯我」はただ自分のみということ。「独尊」は自分だけが一人尊いということ。

一 言 : あの日本大学の前理事長が脱税容疑で逮捕されました。理事長は十三年間トップに君臨し、日常の行動と振る舞いはこんな感じだったのではないのでしょうか。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」